



津山市教育相談センター鶴山塾
市民ボランティア「とまり木」会員
竹内 ちずかさん (林田)

昭和59年10月に設立した津山市教育相談センター鶴山塾(山下)で、開塾当初から33年間ボランティアとして運営の支援活動を続けている。

毎週欠かさず鶴山塾に通い、自宅で栽培する花を塾内に飾っているほか、子どもたちの声に耳を傾けるなど、これまで鶴山塾の歴史を見守り続けてきた貴重な存在である。



鶴山塾でボランティアを始めたきっかけは？

鶴山塾ができた当初、さまざまな悩みを抱えた子どもたちが通って来る中、塾を運営する先生は2人だけで、職員数が十分とはいえない状態でした。親しくしていた先生が塾長として奮闘している姿を見て、「わたしも力になりたい。そして、悩みを抱える子どもたちのそばに寄り添いたい」と考え、ボランティアを始めました。

鶴山塾に通う子どもたちに、穏やかな気持ちで過ごしてほしいと願い、毎週、塾内に花を飾っています。

子どもたちと接する中で感じることは？

「花のおばちゃん、おはよう！」と子どもたちが元気良く声を掛けてくれることが、とてもうれしいです。

悩みを抱える子どもたちが鶴山塾で大人と真剣に向き合い、生活を送っていく中で、悩みを乗り越えてだんだんと変化し、成長していく姿を見てみると、わたし自身が勇気づけられます。「人は優しさに包まれることで、安心して成長していける」ということをいつも実感しています。

ボランティアをしていて良かったことは？

鶴山塾の先生やボランティアの皆さんなど、多くの人と人間関係を築けたことが、わたしの人生にとって大きな糧になりました。仲間と一緒に子どもたちの成長を支えることが、わたしのやりがいになっています。

津山の皆さんにメッセージを

津山の宝である子どもたちと一緒に時間を過ごすことができる鶴山塾が、わたしは大好きです。一人でも多くの市民の皆さんに、鶴山塾でのボランティア活動に参加していただきたいと願っています。



▲楽しみながら花を活ける竹内さん



▲子どもと一緒に農作業に取り組む竹内さん

皆さん、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいますか？
今月号の特集によると「残業をせずに帰っているから大丈夫、休暇をきちんと取っているから問題ない、といった単純なものではない」とのこと。うーん、なかなか複雑なんだな。認定企業の多さにもビックリ。詳しくはP25をお見逃しなく。(W)

毎朝見しまつテレビの星占い。良いことは信じ、悪いことは忘れる。でも最下位といわれると…。そんな気持ちを盛り上げてくれるのがラッキーアイテム。花と聞いたある日、通勤途中に咲く花を見て気分を盛り上げようと思っていたら、花の咲いたマリーゴールドの苗を偶然いただき、ほくほく気分。(C)

夜、車で帰宅していると、フロントガラスにたくさん虫がぶつかり、死骸が張り付いて困っています。早く汚れを取れば良いのですが、つい、そのままにしてしまいがちです。運転中の視界を確保し、愛車を長くきれいに保つため、その日の汚れは、できるだけその日のうちに落とすようにしています。(S)



編集・発行
津山市総合企画部秘書広報室(市役所3階)
〒708-8501 岡山県津山市北520番地

☎ 0868-32-2029
☎ 0868-32-2152
✉ kouhou@city.tsuyama.lg.jp

広報津山は、環境保護のため再生紙と植物性インキを使用しています。読み終えた後、リサイクル(雑誌)にご協力ください

☆広報津山はホームページで閲覧できます
https://www.city.tsuyama.lg.jp/



☆津山市のフェイスブックはこちら
https://www.facebook.com/city.tsuyama.kouhou

